



(財)日越教育・交流協会
令和5年度
ボランティア日本語講師オンライン研修会

日本語講師 有馬綾香

自己紹介

- 鹿児島県霧島市出身、同市在住
- 琉球大学国際言語文化学科卒業(フランス語専攻)
- 2010年 ヒューマンアカデミー日本語教師養成講座修了
- 日本語教育能力検定試験 合格
- 2011年～2013年 中国江蘇省の大学の日本語科勤務
- 2013年～2016年 東京都内の日本語学校に専任講師として勤務
- 2016年～2022年 鹿児島情報ビジネス公務員専門学校
日本語科の立ち上げ、専任講師として勤務
- 2022年～オンライン日本語講師として活動

- これまでに500名以上の日本語学習者と関わってきた



主な活動

○ プライベートレッスン

初級～上級までの日本語指導、日本語能力試験対策N1～5
ビジネス日本語など幅広く対応

○ 日越教育・交流協会ボランティア日本語講師

①2022年10月～

株式会社南光の外国人社員の配偶者3名
(現在は2名)にゼロ初級からオンライン指導
・月3回1.5時間程度 金曜日13:00～

②2023年2月～6月末まで

株式会社 たからや蒲鉾の技能実習生2名(5月より1名)
にオンライン指導(N2レベル)
・月3回(5月より月2回)1.5時間程度 水曜日14:00～



1. 日本語講師として

日本語講師とは？

日本語学習者にとって、最も身近な日本人。
場合によっては、学習者が初めて接する日本人にもなりうる。

国内の日本語教育機関(日本語学校や大学、専門学校など)
だけでなく、海外でも活躍できる。
また、企業や地域の日本語教育現場でも活躍している。



1. 日本語講師として

① 基本的なあり方

- 国籍や文化、宗教、社会情勢の違いを理解し、受け入れ、講師と学習者がお互いに尊重し合える関係を築けるように努める。
- 差別や偏見を認識し、講師自身はそれに左右されないように努める。
- 学習者が日本で生活するなかで、困ったり、いやな思いをしたりすることがないように、日本語だけでなく、日本のルールやマナー、日本人の考え方なども併せて伝える。



1. 日本語講師として

② 気をつけていること

- どのような場合でも、最終的には日本語を「使える、話せる」ようになることを念頭におく。

学習者の目標が「試験に合格する」ことだったとしても、
試験の合格は通過点に過ぎない。

大切なのは学んだ日本語を使って生活や仕事に活用していくことである。
そのために、「覚える」のではなく、「話せる」ことに焦点を置き、
授業を行うようにしている。



1. 日本語講師として

③ 注意すべきこと

○ 講師のひとりよがりにならない

「教えたい」気持ちが先行してしまうと、
学習者が望んでいないことを押し付けてしまったり、
授業について来られていないことなどを見落としてしまいがち。
教えるのではなく、**共に学ぶ気持ちを持つ**ことが大切。

○ 決めつけない

学習者にもそれぞれの事情がある。
講師の考えだけで判断せずに、
学習者に寄り添って考えることが大切。



2. 日本語ボランティアを始めるにあたって

日本語ボランティアの役割は、

学習者が日本で自立した生活を送れるように
手助けすること。

日本語を教えることだけにとらわれる必要はない。



2. 日本語ボランティアを始めるにあたって

① 日本語ボランティアのできること

1. 学習者が生きた日本語に触れ合える

2. 学校では教えられないことを教えることができる

3. 生活に役に立つ情報を知っている／教えることができる

〇〇スーパーが安いよ、〇〇がおいしいよ

〇〇への行き方、〇月〇日にお祭りがあるよ など

4. 学習者が困っているときにサポートすることができる



2. 日本語ボランティアを始めるにあたって

② 学習者について知っておくべきこと

1. これまでの日本語学習歴について

どのようなテキストを使い、どのくらい学んだのか

2. 今後の目標

日本語能力試験(JLPT)を受験したい、日本で働き続けたいなど

3. 日本語を使って何をしたいか

日常会話がしたい、N2に合格したいなど

4. 何を重点的に学習したいか

会話だけ、読み書きも全部など

5. 最終的にどうなりたいか

日系企業に就職したいなど



2. 日本語ボランティアを始めるにあたって

③国語と日本語の違い

- 国語は日本語を母語とする人のための言語
- 日本語は英語や中国語などのように外国語として学習するための言語

◆ 国文法と日本語文法との違い例

	みます	みない	みて	みる	みた
国文法	連用形	未然形	連用形	終止形	連用形
日本語文法	ます形	ない形	て形	辞書形	た形

- ◆ 幼児用教材や小学生用教材は、日本語学習者にとっては難しい。



2. 日本語ボランティアを始めるにあたって

④日本語レベルについて

	初級 (N5)	初中級 (N4)	中級 (N3)	中上級 (N2)	上級 (N1)
漢字数	約100字	約300字	約600字	約1,000字	約2,000字
語彙数	約800語	約1,500語	約3,000語	約6,000語	約10,000語
学習時間の目安	150～ 300時間	300～ 400時間	450～600 時間	600～ 800時間	900～ 1200時間
日本語学校での 学習期間	2.5～ 5ヵ月	5～ 6.5ヵ月	6ヵ月～ 1年程度	10ヵ月～ 1年半程度	1年半以上

※学習時間はあくまでも目安で、クラス人数や国籍によって変動します。

※1日3時間、週5日学習すると仮定した場合の期間です。



2. 日本語ボランティアを始めるにあたって

⑤ 教材と使い方について(1)

- 教材は学習者の目標や目的を確認したうえで、学習者に適したものを選定する
- 教材はなるべく、よく知られている物を選ぶ
- 初級～初中級は総合教材がおススメ
- 特に初級～初中級は会話と文法はセットで教える
文法ありきで会話を作る 『みんなの日本語』
会話ありきで文法を学ぶ 『できる日本語』
- 初級～初中級は、必ずテキストに応じた語彙訳(翻訳)を学習者の手元に持たせる。



2. 日本語ボランティアを始めるにあたって

⑤ 教材と使い方について(2)

○ 日本語能力試験の問題集を使用する際の注意点

問題集を始める前に**事前知識を習得していること**。

例えば、N3文法の問題を解くためには、
事前に文法知識を習得している必要がある。

問題を解くことは、それまでの学習の力試しであるため、
何の学習もせずいきなり始めてもできるはずがない。

事前知識がなければ、問題文に出題されている語彙や文法だけでなく、
選択肢の語彙や文法まで説明する必要があるため、

多くの時間を要する上に、非効率的であり、応用力も身につかない。

さらに、同じ問題が出題されることはまずないため、
より多くの問題をこなす必要がある。

遠回りに思えるかもしれないが、

文法や語彙などの対策教材を使用する方が、実は効率的。

問題集などのドリル形式の問題は宿題にし、講座で解答解説をすればOK。



3. 日本語能力に応じた推薦テキスト

□ 初級～初中級(N5～N4)

① 独立行政法人国際交流基金 編著

『まるごと 日本のことばと文化』 入門A1～A2

(三修社、2013年／2014年)

生活者向け日本語教材で、世界各国で使用されている。

「りかい」と「かつどう」の2種類があり、教材や翻訳、音声、教え方のポイントはインターネット上でダウンロード可能。16か国語の翻訳がある。

➤ りかい

語彙や文法、会話だけでなく、漢字や聴解、読解、作文までこれ1冊で学習できるため、日本語能力試験を目指している学習者にも適している。写真や絵が豊富なため、わかりやすく、楽しく学べる。

➤ かつどう

コミュニケーション重視の内容なため、「聞く」「話す」活動が多く、すぐに日本語が話せるようになりたい学習者向け。



3. 日本語能力に応じた推薦テキスト

□ 初級～初中級(N5～N4)

② できる日本語教材開発プロジェクト 著 『できる日本語』 初級～初中級

(アルク、2011年／2012年)

近年日本語教育機関で注目されている、総合教科書。

絵で場面が示されているため、学習者が理解しやすいだけでなく、講師側も教えやすい教材。

学習者が話せるようになるスピードも、他の教材に比べて早い傾向がある。

17か国語の翻訳がある。(インターネットでダウンロード可)

教え方ガイド&イラストデータCD・ROMあり



3. 日本語能力に応じた推薦テキスト

□ 初級～初中級(N5～N4)

③ スリーエーネットワーク 編著

『みんなの日本語 第2班』 初級Ⅰ～Ⅱ

(スリーエーネットワーク、2012年／2013年)

日本語教材といったらこれ！というほど、伝統のある教科書。
世界各国で使用されているため、母国でこの教材を使ったことのある学習者も多い。文法を中心に体系的に学習できる。

さらに、副教材も充実している。

27か国語の翻訳があるが、購入する必要がある。教え方の手引きあり。

➤ 注意点

文法の暗記になりやすい。

会話が短く、不自然な表現もある。

すぐに話せるようになりたい学習者には向かない。

教え方に工夫が必要。(絵カードの準備や、文法導入の方法を考えるなど)



3. 日本語能力に応じた推薦テキスト

□ 中級(N3)～中上級(N2)

- ① 独立行政法人国際交流基金 編著
『まるごと 日本のことばと文化』 初中級、中級1～2
(三修社、2015年／2016年／2017年)

中級の総合教材。初中級はN4からN3への橋渡しとして、
中級はN3～N2の前半まで学習できる。
初級と同様、絵や写真が多く、話題も漫画やアニメをはじめ、
旅行サイトの口コミや、SNSの投稿など幅広く、現代的なため、
飽きずに楽しく学習できる。日常生活でよく使う会話表現を
中心に、日本の文化なども多く学ぶことができる。
12か国語の翻訳がある。インターネット上に教え方の手引きあり。



3. 日本語能力に応じた推薦テキスト

□ 日本語能力試験対策

① 公益財団法人アジア学生文化協会 編著

『TRY！日本語能力試験 文法から学ぶ日本語』 N5～N1
(アスク出版、2014年)

文法がメインだが、短めの読解があることと、練習問題が多いこと、
課のまとめとして試験形式の練習問題があること、
さらに聴解も練習できることなど、内容が充実している。
ボランティアのような限られた時間での試験対策に適した教材。
英語、中国語、ベトナム語訳がある。
教師用ガイドブックあり。



3. 日本語能力に応じた推薦テキスト

□ 日本語能力試験対策

② 佐々木仁子、松木紀子 著

『日本語総まとめ』シリーズ N5～N1

語彙／漢字／文法／読解／聴解

(アスク出版、2015年／2017年／増補改訂版 2022年)

内容が易しめで、それぞれのレベルのスタートにはちょうど良い教材。
試験対策としては内容が少なめなため、これだけでは十分とはいえないが、
イラストを使った説明がわかりやすく、特に非漢字圏の学習者から
人気がある。

英語、ベトナム語、中国語、韓国語訳がある。



3. 日本語能力に応じた推薦テキスト

□ 会話教材

① 渡辺由紀子、角谷佳奈、左弥寿子、緒方由希子 著

『NIHONGO FUN&EASY

Survival Japanese Conversation for beginners』

(アスク出版、2009年)

ひらがなが読めなくても、ローマ字ですぐに学習できる会話教材。
街ですぐに使える会話なため、サバイバル日本語の学習に適している。
短いフレーズから始め、徐々に長めの会話へと移行していく。
語彙を入れ替えることで、様々な場面で使えるようになって
いるため、追加の説明が必要だが、理解は深まる。
英語での文法説明と翻訳がある。



3. 日本語能力に応じた推薦テキスト

□ 会話教材

② 清ルミ 著

『しごとの日本語 FOR BEGINNERS 会話編』

(アルク、2018年)

日本に来たばかりで、ひらがなもまだ読めないゼロ初級から始められる、ビジネス用会話教材。

会話はビジネスシーンだけでなく、日常的に使えるものもある。

イラストの状況描写があるので、わかりやすく、

サバイバル日本語の学習に適している。

英語、中国語での文法説明と翻訳がある。



3. 日本語能力に応じた推薦テキスト

□ 会話教材

③ Coto Japanese Academy 著

『マンガでマスター！ステップアップ！日本語会話』

(ナツメ社、2021年)

初級後半からN3以上に使える会話教材。

マンガを用いた会話であるため、情景が想像しやすく、
わかりやすだけでなく、楽しく学べる。

カジュアルなものから、敬語を用いた改まったものまで、
リアルな会話が学べる教材。

英語訳がある。



3. 日本語能力に応じた推薦テキスト

□ 会話教材

④ 創作集団にほんご 著

『マンガで学ぶ日本語表現と日本文化

—多辺田家が行く!!』

(アルク、2009年)

「わたし、あたし、ぼく、おれ、じぶん、わし、わたくし」のような、日本語表現の細かなニュアンスの違いを学べる教材。

N3後半以上におススメ。

日本語だけでなく、日本人の考え方や日本文化も学べる。



4. その他

- 日本語ブックスOnline (株)語文研究社 ★日本語専門書店
<https://books-online.jp/>
- まるごと
<https://www.marugoto.org/>
- できる日本語
<http://www.dekirunihongo.jp/>
- スリーエーネットワーク
<https://www.3anet.co.jp/>
- アスク出版
<https://www.ask-books.com/jp/>
- 日本語ジャーナル ★日本語教育に関する情報
<https://nj.alc-nihongo.jp/>



4. その他

◆ 推薦図書

- NPO法人YYJ・ゆるくてやさしい日本語のなかまたち 著
『日本語を教えてみたいと思ったときに読む本』

(コスモピア、2022年)

- 金村久美、松田真希子 著

『ベトナム人に日本語を教えるための発音ふしぎ大百科』

(ひつじ書房、2020)

